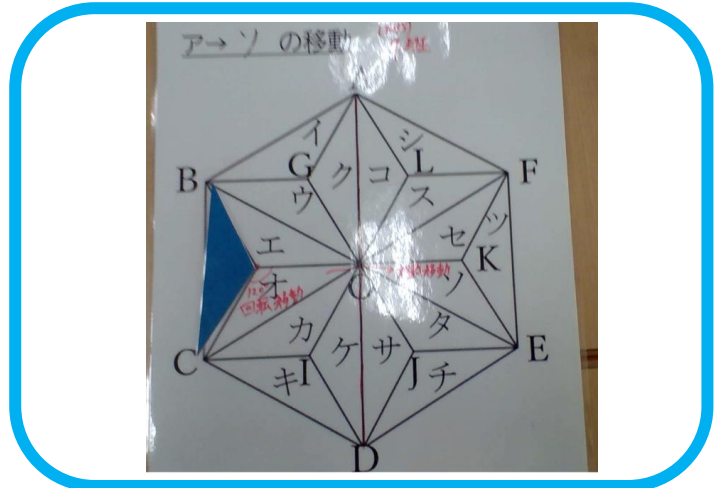


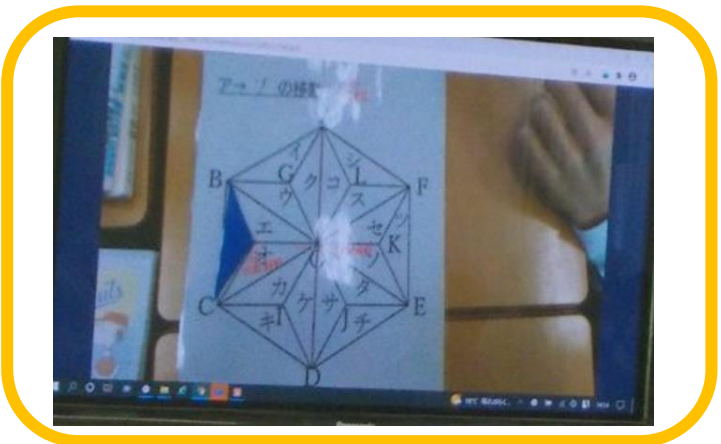
生徒の実態 ・図形が移動するときの様子をイメージすることが難しい。
 ・順序立てて、物事を説明することが難しい。(複数の生徒)

☆手立て・合理的配慮

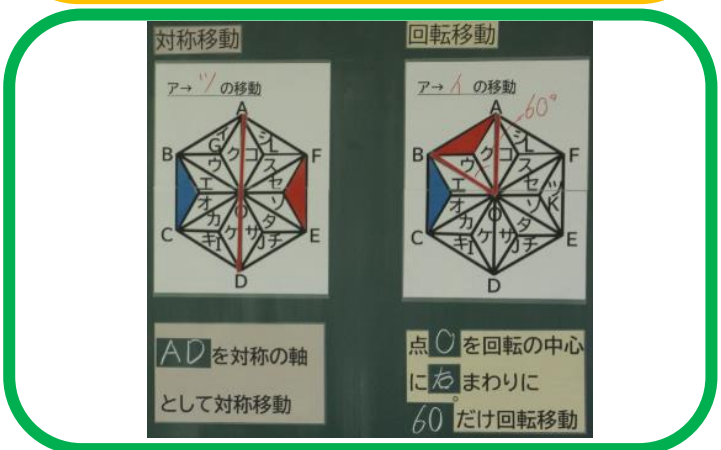
①手元で実際に動かしながら考え、自由に書いたり消したりしながら結論を出せるように、問題と同じ図をA3サイズに拡大してラミネートし、操作する図形(今回は三角形)を用意した。



②言葉で説明しにくいことを伝えやすくするために、モニターに生徒の手元を映し、具体物を操作する様子を全体で共有した。



③説明が苦手な生徒も挑戦できるように、説明の型を用意し、あらかじめワークシートの穴埋めを完成させた上で発表させた。



支援を受けてみて

- ・実際に図形を動かすことで、複雑な移動も考えることができた。
- ・説明の仕方が決まっていたので、相手に伝わる説明ができた。
- ・自分が分からないことも、図形を操作して説明してもらおうと理解できた。